

北海道広尾高等学校 第1学年 「歴史総合」 単元学習指導計画

1. 単元名：国際秩序の変化や大衆化と私たち

2. 大単元全体の目標

- ・総力戦、大衆社会、第二次世界大戦、冷戦等、国際秩序の変化や大衆化に関する諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に読み取り、国際秩序の変化や大衆化について理解することができる。
- ・総力戦、大衆社会、第二次世界大戦、冷戦等、国際秩序の変化や大衆化に着目して、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現することができる。
- ・総力戦、大衆社会、第二次世界大戦、冷戦等、国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組むとともに、自身の問いや現代的な諸課題と関連付けて追究したり、よりよい社会の実現を視野に、自ら主体的に考えたりしようとする態度を養う。

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・総力戦、大衆社会、第二次世界大戦、冷戦等、国際秩序の変化や大衆化に関する諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に読み取った上で、「近代化で形成された諸課題」について、大衆化の中でどのように変化し、課題が残存するのかについて理解し、それに関わる知識を身に付けている。	・総力戦、大衆社会、第二次世界大戦、冷戦等、国際秩序の変化や大衆化に着目し、「近代化で形成された諸課題」について、大衆化の中でどのように変化し、課題が残存するのかについて諸資料等から多面的・多角的に考察し、表現している。	・「近代化で形成された諸課題の変容」について、総力戦、大衆社会、第二次世界大戦、冷戦等、国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象に関する諸資料を活用したり、これまでの学習と結び付けたりしながら、主体的考察を深め、積極的に追究するとともに、見通しをもって課題に取り組もうとしている。

4. 各単元の指導計画 ※○…評定に用いる評価 ●…学習改善につなげるの評価 エ…エキスパート資料の略中項目(1)

時	学習内容・学習活動	知	思	態	評価規準等
	主題 ： 問いの表現 小単元全体を貫く問い ： 近代化で発生した課題は、大衆化においてどのように受け止められ、変容したのか				
	○内容 ・国際秩序の変化や大衆化についての「問い」を表現する。 ・近代化の課題が大衆化でどう変容するか、見通しを持つ。 ○使用資史料 エ A…新たな女性の登場（新婦人協会等） エ B…男性側の視点（田辺聖子「昔のオンナ」等） エ C…当時の男らしさ、女らしさ（広告資料）		●		国際秩序や大衆化にかかわる「問い」を表現している。 ● 「近代化で形成された性別役割分業」について、大衆化の中で、どのように変容したのか、見通しを立てている。

中項目(2) ①総力戦

時	学習内容・学習活動	知	思	態	評価規準等
	主題 ： 総力戦 小単元全体を貫く問い ： 第一次世界大戦はこれまでの戦争と何が異なるのか				
	◇ 第1時： 第一次大戦前後の国際関係				
	【問い】 第一次世界大戦前後の国際関係は？				
7 時 間 扱	○内容 ・第一次大戦の要因と前後の国際関係について理解する。 ・諸外国の立場を踏まえ、多面的・多角的に国際関係を表現する ○使用資史料 エ A…ドイツの視点（9月綱領） エ B…イタリアの視点（エジプト・モロッコ） エ C…イギリスの視点	●		●	・第一次大戦の要因と前後の国際関係について理解する。 ・諸外国の立場を踏まえた国際関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。

◇ 第2時：日本と第一次大戦							
【問い】 第一次大戦への日本参戦は是か非か							
○内容	●				●		<ul style="list-style-type: none"> 日本の第一次大戦への参戦とその結果について理解している。 諸外国の立場を踏まえ、当時の日本が置かれた状況を、多面的・多角的に考察し、表現する。
○使用資料							
エ A…反対の立場から（石橋湛山やヨーロッパ派遣日本人）							
エ B…諸外国（風刺画や当時の新聞による批判）							
エ C…賛成の立場から（井上馨、大戦景気）							
◇ 第3時：総力戦							
【問い】 第一次大戦はこれまでの戦争と何が異なるのか							
○内容	○				●		<ul style="list-style-type: none"> 総力戦について概念的に理解する。 総力戦について、多面的・多角的に考察し、その内容を定義し、表現する。
○使用資料							
エ A…植民地の立場から（黒人兵の記録）							
エ B…女性の戦争協力（『総力戦とデモクラシー』）							
エ C…戦争観の変化（ルーデンドルフ）							
◇ 第4時：資本主義・社会主義							
【問い】 資本主義・社会主義とはどのような考え方なのか							
○内容	●				●		<ul style="list-style-type: none"> 資本主義社会における「構造的奴隷」について、理解している。 資本主義と社会主義の考え方の違いやつながりを自分の言葉で表現する。
○使用資料							
・マルクス『共産党宣言』							
◇ 第5時：ソ連誕生							
【問い】 社会主義政権の登場は世界に何をもたらしたのか							
○内容	○				●		<ul style="list-style-type: none"> 社会主義政権の登場が世界に与えた影響について理解している。 諸外国の立場を踏まえ、多面的・多角的に、社会主義政権の登場が世界に与えた影響を考察し表現している。
○使用資料							
エ A…ロシア革命の影響（ポスター、平和に関する布告）							
エ B…世界の向き合い方（シベリア出兵）							
エ C…日本の考え方（原敬）							
◇ 第6時：国際協調体制							
【問い】 ヴェルサイユ体制は国際関係にどのような影響を与えたのか							
○内容	●				●		<ul style="list-style-type: none"> 第一次大戦後の国際関係について理解している。 ヴェルサイユ体制について、諸外国の立場を踏まえ、多面的・多角的に評価する。
○使用資料							
エ A…日本における評価（徳富蘇峰、近衛文麿）							
エ B…ドイツの評価（将来の戦争の種）							
エ C…フランスの評価							
◇ 第7時：民族自決							
【問い】 三一独立運動の評価が各国で異なるのはなぜか							
○内容	○				○		<ul style="list-style-type: none"> 「民族自決」概念について理解している。 諸外国の立場を踏まえ、「民族自決」概念を多面的・多角的に考

察し、定義を表現する。 ○使用資史料 エ A…中国から三一独立運動 エ B…日本から見た三一独立運動 エ C…イギリスから見た三一独立運動				● 念を多面・多角的に考察し、定義を表現している。 ・小項目を通じ、自身の問いを整理し、深めようとしている。
---	--	--	--	---

中項目（2）②大衆社会

時	学習内容・学習活動	知	思	態	評価規準等	
5 時 間 扱	主 題： 小单元全体を貫く問い： 大衆を構成するのは誰なのか					
	◇ 第1時：世界恐慌の発生と各国の対応					
	【問い】なぜ大衆は形成されるのか					
	○内容 ・メディアの役割について理解する。 ・諸資料を踏まえ、メディアが大衆に与える影響を表現する。 ○使用資史料 ・大正期のカルピス新聞広告から、現代における CM 広告	●			●	・メディアの役割について理解している。 ・諸資料を踏まえ、メディアが大衆に与える影響を表現している。
	◇ 第2時：諸外国における大衆の政治参加					
	【問い】大衆の政治参加を促した要因は何か					
	○内容 ・諸外国における大衆の政治参加についてその要因や背景を含め理解する。 ・諸資料を踏まえ、大衆の政治参加にいたる要因を多面・多角的に分析し、表現する。 ○使用資史料 エ A…義務教育（就学率や新聞の購読数） エ B…産業構造の変化（工業化の進展にかかわる資料） エ C…戦争と女性の参加（各国の女性参政権）	●			●	・諸外国における大衆の政治参加についてその要因や背景を含め理解している。 ・諸資料を踏まえ、大衆の政治参加にいたる要因を多面・多角的に分析し、表現している。
	◇ 第3時：大正デモクラシー					
	【問い】日本では大衆の政治参加はどのように進むのか					
	○内容 ・大正デモクラシーについて理解する。 ・大正デモクラシーについて、その内容を踏まえ、定義を自分の言葉で表現する。 ○使用資史料 エ A…選挙権に関する政府の考え（原敬） エ B…民衆の考えの支え（吉野作造） エ C…政治参加の背景（日本の義務教育就学率）	●			●	・大正デモクラシーについて理解している。 ・大正デモクラシーについて、その内容を踏まえ、多面的・多角的に考察し、定義を自分の言葉で表現している。
◇ 第4時：労働運動、女性参政権						
【問い】大衆の外に置かれた人々は、何を求めどう動いたのか						
○内容 ・労働運動や女性の政治参加について、その要因や動きを理解する。 ・諸資料を踏まえ、当時大衆の外に置かれた人々が何を求め、どのような動きを起こしたのか、自分の言葉で表現する。 ○使用資史料 エ A…沖縄からの視点（人類館事件からの変容） エ B…北からの視点（旧土人保護法から、どう変わったのか） エ C…女性参政権（平塚、市川房枝）	○			●	・労働運動や女性の政治参加について、その要因や動きを理解している。 ・諸資料を踏まえ、当時大衆の外に置かれた人々が何を求め、どのような動きを起こしたのか、自分の言葉で表現している。	
◇ 第5時：大衆社会・大衆文化						
【問い】大衆が持つ「意識」とは何か						
○内容 ・大衆社会について、その特徴を理解する。	○				・大衆社会について、その特徴を理解している。	

<ul style="list-style-type: none"> ・大衆社会における人々の意識の変容について、資史料をもとに分析し、考えを自分の言葉で表現する。 <p>○使用資史料</p> <p>エ A…アメリカ（平均的なアメリカ人）</p> <p>エ B…男性・女性（モガ・モボ）</p> <p>エ C…日本の家庭（雑誌、家、食生活）</p>	○	●	<ul style="list-style-type: none"> ・大衆社会における人々の意識の変容について、資史料をもとに分析し、考えを自分の言葉で表現している。 ・小項目を通じ、自身の問いを整理し、深めようとしている。
---	---	---	---

中項目（3）①第二次世界大戦

時	学習内容・学習活動	知	思	態	評価規準等
4 時 間 扱	<p>主題：第二次世界大戦</p> <p>小単元全体を貫く問い：平和を目指していたのに、なぜ再度戦争へと向かうのか</p>				
	◇ 第1時：世界恐慌の発生と各国の対応				
	【問い】世界恐慌は各国にどのような影響を与えたのか				
	○内容	●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌が各国の政策に与えた影響を理解している。 ・世界恐慌の影響について、諸外国の資史料を読み取り、対応の違いがどう戦争につながるのか、表現する。
	○使用資史料				
	エ A…ドイツの動向（我が闘争）				
	エ B…アメリカ（ニューディール）				
	エ C…貿易の在り方（ブロック経済）				
	◇ 第2時：ファシズム				
	【問い】ナチスは「良いこと」もしたのか				
○内容	●	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ファシズムという概念について理解している。 ・ヒトラーの政策を評価し、「よい」といえる部分があるといえるのか、資史料に基づき、評価をする。 	
○使用資史料					
エ A…大衆の形成（『群集心理』）					
エ B…経済政策（アウトバーン）					
エ C…家族政策（ニュルンベルク法）					
◇ 第3時：日中戦争					
【問い】日本の中国進出の是非について					
○内容	●	●		<ul style="list-style-type: none"> ・日中戦争の経過・推移について理解している。 ・日中戦争における日本の行動、判断に対し、諸資料を踏まえ、多面的・多角的に考察し、その是非を自分の言葉で表現する。 	
○使用資史料					
エ A…日本政府の主張（近衛、松岡）					
エ B…大衆の見解					
エ C…諸外国の判断（スカルノ）					
◇ 第4時：第二次世界大戦					
【問い】戦争における「人」とは？					
○内容	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の推移について理解している。 ・戦争の中で、大衆がどのように戦争と向きあったのか、資史料から、多面的・多角的に考察し表現する。 	
○使用資史料					
エ A…白バラ運動					
エ B…アンネの日記					
エ C…オードリー・ヘップバーン					

中項目（3）②冷戦

時	学習内容・学習活動	知	思	態	評価規準等	
4 時 間 扱	主題 ：冷戦 小単元全体を貫く問い ：平和を目指していたのに、なぜ再度戦争へと向かうのか					
	◇ 第1時：アジア・太平洋戦争					
	【問い】日本は何を目的に戦争し、それは何をもたらしたのか					
	○内容 ・アジア・太平洋戦争について、その推移や前後の国際関係について理解する。 ・日本の行動がどのような評価をされていたかについて、諸外国の視点を踏まえ、根拠を示して自分の言葉で表現する。 ○使用資料 エ A…大東亜会議に参加した諸国の日本観 エ B…日本における戦争の意義 エ C…欧米諸国はどう日本をみていたのか	●				・アジア・太平洋戦争について、その推移や前後の国際関係について理解している。 ・日本の行動がどのような評価をされていたかについて、諸外国の視点を踏まえ、根拠を示して自分の言葉で表現している。
	◇ 第2時：国家総動員					
	【問い】国民は戦争とどう向き合ったのか					
	○内容 ・戦争時における国民の生活について、理解する。 ・戦争を日本国民はどのように考えていたのか、諸資料を活用し、多面的・多角的に分析し、自分の考えを表現する。 ○使用資料 エ A…市川房枝の戦争観 エ B…ドイツにおける大衆と戦争 エ C…日本の大衆	○	●			・戦争時における国民の生活について、理解している。 ・戦争を日本国民はどのように考えていたのか、諸資料を活用し、多面的・多角的に分析し、自分の考えを表現している。
	◇ 第3時：敗戦後の日本					
	【問い】敗戦後の日本が目指した姿と実態にはどのようなずれがあったのか					
	○内容 ・GHQによる占領政策と、逆コースについて理解する。 ・GHQの政策とその変化について、なぜ政策の方向性が大きく変わったのか、諸資料をもとに分析し、自分の考えを表現する。 ○使用資料 エ A…憲法の違い（大日本帝国憲法と日本国憲法） エ B…民主化（女性議員の誕生等） エ C…マッカーサーの見解	●		●		・GHQによる占領政策と、逆コースについて理解している。 ・GHQの政策とその変化について、なぜ政策の方向性が大きく変わったのか、諸資料をもとに分析し、自分の考えを表現している。
◇ 第4時：戦後の国際関係						
【問い】戦後はどんな世界が目指されたのか						
○内容 ・戦後の国際関係について理解する。 ・戦後の国際関係における矛盾点、見解の対立を諸資料より読み取り、方向性と実態のずれを自分の言葉で表現する。 ○使用資料 エ A…戦後の国際機関（IMF・GATTの設立目的） エ B…アメリカの見解（トルーマンドクトリン） エ C…ソ連の見解	○		○		・戦後の国際関係について理解している。 ・戦後の国際関係における矛盾点、見解の対立を諸資料より読み取り、方向性と実態のずれを自分の言葉で表現している。 ・小項目を通じ、自身の問いを整理し、深めようとしている。	

中項目（4）本時の学習指導案をご確認ください。